

優れた価格／パフォーマンスと変化に適応する柔軟性で、ERPを企業、サプライヤー、お客様に広げることができます



## Linux on IBM POWER システム向けSSA ERP<sub>LN</sub>ソリューション



今日のオンデマンドの世界で競うためには、ビジネスには、信頼性と拡張性を備えた強力なITハードウェアおよびソフトウェアを備えた、強固なERPソリューションが必要です。それにより変化する要求にすぐに対応し、コストのかかかかるダウンタイムを削減することができます。

高い導入コストと複雑なシステム要件により、今まで中堅企業は会社規模のソリューションを開発することができませんでした。オープンシステムの出現と普及により、中堅企業は、お客様、サプライヤー、パートナー、主幹オペレーションとの関係を強化し、会社内で広範囲にわたり、大きく効率を向上させることができるソリューションを取り入れるという、新たな選択肢を得ました。

SSA Globalには、世界中に13,000以上のお客様を持ち、中堅企業および大企業に競争力を与えるサポートとなるように設計された主導的なERPソフトウェアソリューションを提供いたします。真のビジネス価値を中堅企業のお客様にお届けするというSSA GlobalとIBMのコミットに基づき、両社は協力することで新たにお手ごろ

### ハイライト

- SSA Global および IBM は協力して、優れたプライス・パフォーマンスを発揮するERPソリューションをLinux®オペレーティングシステム環境にて実現します。
- 人気のあるSSA ERP<sub>LN</sub>ソフトウェアは、オーダードリブン方式、プロジェクトに依存する個々の製造に、極めて広範かつ徹底したサポートを提供します。
- 高パフォーマンスで強固なIBMハードウェアおよびソフトウェアは共に、最適なITインフラストラクチャーをERPに提供いたします。
- IBM System p5™ Expressポートフォリオ対応モデルは、最先端のパフォーマンス、信頼性、拡張性をお手ごろな価格で提供いたします。
- System p5™ Expressポートフォリオ対応モデルのオプションであるAdvanced POWER™ Virtualization (APV) 機能は、ERPモジュールを集約し、ITインフラを簡素化するお手伝いをいたします。
- オープンなLinux OSは、発展的な柔軟性をもち、業界基準のサポートを推進します。

な価格の ERP ソリューションスタックをオープンソースの Linux プラットフォーム環境で実現します。柔軟性の向上、価値あるビジネス機能の提供、そしてコスト削減および時間枠の短縮などの、目に見える効果をお届けするよう設計された、Linux OS ベースのソリューションスタックは、柔軟性があり手ごろな価格の System p5 Express 製品とセットになっています。この強力なサーバー群は、競争力とビジネス価値を高めるために、信頼性、可用性、RAS、パフォーマンス、セキュリティの提供を目的に設計されています。IBM TotalStorage® の拡張可能なストレージシステム、IBM DB2® Universal Database™ (DB2 UDB) および IBM WebSphere® Application Server により、完全なエンドツーエンドのソリューション構築を可能にしたソリューションスタックが完成しました。

### 実装や使い勝手のよいERP

SSA ERP<sub>LN</sub> は、個別生産方式に対応した手包括的なサポートをお届けします。Webベースのユーザーインターフェースを提供、サービス指向アーキテクチャ (SOA) の適応を容易にし、標準機能でアプリケーション間統合を可能にします。最先端の技術構築に基づき、SSA ERP<sub>LN</sub> は、かんばん方式、配送管理、包括的な分野サービス能力、およびビジネスプロセスモデリングを含む、優れた製造/生産能力を提供します。加えて、SSA ERP<sub>LN</sub>には、自動

車、航空機、ハイテク電化製品、産業機械・機器を含む主要ターゲット産業を対象とした、特定のソリューションテンプレートが埋め込まれています。SSA ERP<sub>LN</sub>により、これまでのERPの財務、セールス、購買、製造フットプリントは配送管理、倉庫管理、およびアフターマーケットサービスサポートにまで広がります。

### 優れた製造/生産能力を SSA

#### ERP<sub>LN</sub> で実現

オーダードリブン方式、プロジェクトベースの個々の製造/生産に対してこれほど広範かつ徹底したサポートを提供している ERP システムは他にありません。製造/生産—保管・設計—注文まで、およびライン生産からかんばん方式まで、SSA Global の企業向けソリューション・ポートフォリオは全ての要件を満たします。完全な製品ライフサイクル管理は、注文獲得から製造、その後のサービスおよびメンテナンスまで、高品質なお客様サービスを可能にします。

### お求めやすい価格でも実績ある

#### POWER プロセッサベースのサーバー

System p5 Express ファミリーは、導入済資産への投資を損なわないようにしながら、現在および今後の中堅企業のITインフラストラクチャーに対するニーズに応えられるよう設計されています。System p5 Express ポートフォ

リオ対応モデルは、同時マルチスレディング機能を用いて IBM POWER5™ および POWER5+™ プロセッサを最大限活用することでシステム稼働率を改善し、アプリケーションパフォーマンスを向上させます。これらの革新的なプロセッサは、ERP 作業負荷が非常にかかるトランザクションおよびデータベース処理に対し、優れたプライス・パフォーマンスを提供できるよう設計されています。

System p5 510 Express ポートフォリオ対応モデルは、19インチ2U ラックマウント構成で、1個または2個のコアを持つ 1.9 GHz または 2.1 GHz POWER5+プロセッサを搭載した対称型マルチプロセッシング (SMP) サーバーで、SSA ERP<sub>LN</sub> モジュールを1つまたは2つ利用されるような小規模 ERP 環境構築に適しています。より規模の大きいユーザー環境およびすべての機能を備えた SSA ERP<sub>LN</sub> 構成には、2Wayまたは4Way 1.9 GHz POWER5+、あるいは4Way 2.1 GHz POWER5+プロセッサを搭載したサーバーでスケールアップが可能です。これらのシステムは、大きな成功を収めている IBM eServer™ p5 および pSeries® 製品ラインの実績にもとづいており、お客様のビジネスの成長とともに成長させることができます。

## System p5 Express および SSA ERP<sub>LN</sub> は、お客様のビジネスプロセスを統合するお手伝いをします。

お客様のビジネス要求を満たし、その期待を超えることは、今日の急速に変化する市場において成功するということを意味します。ERP システムは、必要とされる柔軟性をお届けし、あなたを煩わせません。

サプライヤーから社員、お客様というような企業プロセスを統合することに関しては、SSA ERP<sub>LN</sub> に勝るものはありません。SSA ERP<sub>LN</sub> があれば、ビジネスプロセスの企業内部のリンクが可能となり、効率性と適応性を高めることとなります。また、それは外部の主要なパートナーおよびお客様にまで及び、総所有コスト (TCO) の削減へとつながります。

組織内外でのダイナミックな変化には、強固でありながら柔軟性のあるビジネスアプリケーションが必要となります。そしてこれらアプリケーションを利用するには、同様に強固でありながら柔軟性のあるITインフラストラクチャーが必要となります。それぞれ特定のビジネスアプリケーションに対応するために多くのサーバーを導入する場合には、ITインフラストラクチャーの柔軟性を大きく低下させ、企業内統合の試みを妨げます。SSA Global と IBMは、ビジネスプロセスの統合を最適化するためには、ITインフラストラクチャーをまず最適化する必要があることを理解しています。

System p5 Express ポートフォリオ対応モデルは、サーバー資源を集約し、システム管理を簡素化する機会を提供します。これによりITインフラストラクチャーの最適化および ERP 環境の改善のお手伝いをします。

System p5 Express ポートフォリオ対応モデルは、お手ごろな価格でメインフレームがもつ仮想化を中堅企業にお届けする Advanced POWER™ Virtualization (APV) 機能をオプション対応しています。この機能は、マイクロパーティショニング (Micro-Partitioning™) 技術および パーチャルI/Oサーバー (Virtual I/O Server(MOS)) の使用により実現されます。これらの技術により、ひとつの物理サーバー上で複数のセキュアな論理区画 (LPAR) を定義することが可能となります。一財務から個々の製造までの ERP モジュールを集約することができる「スケールWithin」です。操作は分かりやすいブラウザベースの管理機能が提供されることで、管理者がシステムリソースを最適なパフォーマンスを引き出すことができるようになります。こうして、各ERPモジュールが必要とするリソースを継続的に提供できるようにしながら、同時にIT環境を簡素化することが可能となり、その結果システムの利用率が増加します。

集約された ERP 環境は強固でありながら柔軟性のあるITインフラストラクチャーとなり、あなたのビジネスに利益をもたらすことができます。さらなる価値を IT担当者にもたらしめます。複数の古いサーバをより強力な柔軟性のある System p5 Express ポートフォリオ対応モデルに置き換えることで、継続的にTCOを削減し、IT構築を簡素化し、システム利用率を改善させることが可能となります。

## IBM WebSphere ソフトウェアプラットフォームは、サービス指向アーキテクチャ (SOA) に柔軟性をもたらしよう改善されました。

世界中のビジネスが業界標準のミドルウェアを採用し、企業の基幹ソリューションをサポートするアプリケーション、データ、人、プロセスを統合しています。さらにビジネスの柔軟性および対応力を実現するために、企業内で拡散したアプリケーションの統合が容易となるよう期待されています。

ビジネスアプリケーションにおけるリーダーシップを提供するために、SSA Global は IBM と提携し、これらのアプリケーションを最先端の WebSphere ソフトウェア上に構築しています。SSA Open Architecture は WebSphere ソフトウェアを利用し、サービス指向アーキテクチャ(SOA) 上に構築されます。WebSphere ソフトウェアプラットフォームのオープン性を利用することで、SSA Open Architecture は、開発言語、ランタイムフレームワーク、ポータルアプリケーションまたは管理ツールだけに依存することがありません。このオープン性は、開発を容易にし、市場までの時間を短縮し、企業ソリューションの構築および管理を簡素化します。

実際に、SSA Global 製品は IBM の技術をいくつか利用しています。WebSphere Application Server、WebSphere Portal、WebSphere Business Integration および DB2 UDB がそれに含まれます。IBM と SSA Global の提携により、能力の追加、IT の柔軟性を高め、そして実現までの時間を削減しながら、TCOの削減が可能となります。

## なぜ ERP で Linux を推進するのでしょうか。

Linux OS は比較的新しく、1991年に、当時フィンランドのヘルシンキ大学の学生だった Linus Torvalds 氏により開発されました。それ以降 Linux は劇的な成長をみせています。市場調査会社 IDC社 によると、Linux OS はサーバー上で使用される OS の中で最も急速な成長を遂げています。<sup>1</sup>

Linux OS の人気には多くの理由がありますが、多様な背景をもつプログラマーが開発に参加できるオープンソースライセンス方式や、成熟した UNIX® OS との機能上の数ある類似点が挙げられます。IBM のような業界リーダーたちが、早くも 1999 年に、また最近では SSA Global が Linux の流れにのったことで、お客様の Linux OS の採用は、試験的なものから生産開発へと移行しています。

Linux の技術もまた急速に進歩しています。ソフトウェア会社である Novell 社や Red Hat 社は、Linux OS ディストリビューションパッケージを提供しており、これにはビジネスアプリケーション開発に必要とされるサポート、管理、セキュリティ機能が含まれています。オープンリソースコミュニティからリリースされた最新の Linux ソフトウェアには、厳しい IT 要件に対応する Linux OS サポートを拡張する大

きな技術的進歩が組み込まれています。これらの技術的進歩により、インフラストラクチャーからビジネスへの重要な業務における Linux の採用が熱心に議論されています。IDC 社は、2006 年には Linux サーバー収益の 19% がビジネス処理および意思決定支援システムによるものになると予想しています。

ERP に使用される他のオペレーティングシステムと比較すると、Linux OS では次のような状況が可能となります。

- オペレーティングコストを削減し、安定性、信頼性およびパフォーマンスを向上することができます。
- 組織は企業内で一定した基準ベースの OS プラットフォームを開発し、組織の IT システムを簡素化することができます。
- 総合的な System p5 Express OpenPower Edition をはじめ、IBM やその他のベンダーのサーバーファミリーから広くサーバプラットフォームを選択できることにより、お客様は IT の実装を最適化することができます。
- IT 担当者が直接的に Linux の開発に参加して影響を与え、また Linux のサポート技術を強化することができます。

## System p5 Express サーバーでの SSA ERP<sub>LN</sub> の最適化

お客様は、SSA ERP<sub>LN</sub> アプリケーションが動作する System p5 Express サーバーを、次の3つの主要パラメータを評価することで最適化することができます。

- 同時利用ユーザー数
- SSA Globalソリューション、モジュール、および利用される拡張機能
- トランザクション速度およびデータ量

System p5 Express ポートフォリオ対応モデルは、妥協のない柔軟性、可用性およびセキュリティ機能を基本システムに提供するように設計されています。System p5 Express ポートフォリオ対応モデルは、選択可能な多くのサーバーモデルと広範な設定機能を提供することで、今後の成長に備える一方、組織に最も適した IT の実装を細部にわたり調整することを可能にします。これは IT を地域または遠隔施設のより小さいサーバーに分配したり、ERP アプリケーションを集中型アーキテクチャに集約したりすることができるということです。経験に基づき、IBM は System p5 Express ポートフォリオ対応モデルおよび IBM TotalStorage に以下の推奨構成を提供しています。

**小規模**：同時 ERP ユーザー 20 人まで\*

- System p5 510 Express ポートフォリオ対応モデル
- 2 Way 1.65 GHz POWER5+ プロセッサ搭載
- 6GB メモリー
- 4 x 73.4GB 15K 内蔵HDD
- Linux オペレーティングシステム (OS) ディストリビューション

**中規模**：同時 ERP ユーザー 50人まで\*

- System p5 520Q Express ポートフォリオ対応モデル
- 4 Way 1.5 GHz POWER5+ プロセッサ搭載
- 8GB メモリー
- 8 x 73.4GB 10K 内部 HDD
- Linux OS ディストリビューション

**大規模**：同時 ERP ユーザー 100人まで\*

- System p5 550 Express ポートフォリオ対応モデル
- 4 Way 1.9 GHz POWER5+ プロセッサ搭載
- 16GB メモリー
- 2 x 73.4GB 10K 内蔵HDD
- 8 x 73GB 10K FC HDD をもつ IBM ミッドレンジ TotalStorage サブシステム
- Linux OS ディストリビューション

IBM POWER システムソリューション Linux ベースのSSA ERP<sub>LN</sub> は、アプリケーションを含めて検証済みです。

- IBM DB2 Universal Database (DB2 UDB)
- IBM WebSphere Application Server

ソリューションを強化する多数のオプションには以下のものがあります。

- Tivoli® Storage Manager
- SSA Global プロフェッショナルサービス
- ERP 用 IBM Global Services (IGS)
- IBMサポートライン
- IBM Global Financing (IGF)

### Linux on IBM POWER システムソリューションにおけるSSA ERP<sub>LN</sub> の優位点

IBM POWER システムソリューションにおける Linux ベースのSSA ERP<sub>LN</sub> は、優れたプライス・パフォーマンス、変化に適応する柔軟性で、ERP を企業、サプライヤー、お客様に広めるお手伝いをします。

- SSA ERP<sub>LN</sub> があれば、ビジネスプロセスにおける企業内部の接続が可能となり、効率性と適応性を高めることができます。またそれは外部の主要なパートナーおよびお客様にまで及び、総所有コスト (TCO) の削減へとつながります。
- 強力な協業体制により、IBM と SSA Global は、オープンソース Linux OS プラットフォーム向けのこの新しいERPソリューションを通じ、お客様がビジネス目標を達成し、リスクを削減するお手伝いをします。
- この検証済みソリューションは、強力で拡張性のある基本レベル価格の System p5 Express ポートフォリオ対応モデルと TotalStorage 拡張可能ストレージシステム、DB2 UDB および WebSphere Application Server を組み合わせ、高いパフォーマンスと拡張性のある ERP 用インフラストラクチャーを提供します。

- System p5 Express ポートフォリオ対応モデルのオプションである Advanced POWER Virtualization (APV) 機能は、財務から個々の製造までの ERP モジュールをセキュアな環境に集約し、サーバー資源の適切な分配を容易にします。また、複数の古いサーバーをより強力で柔軟性のある少数の System p5 Express ポートフォリオ対応モデルに置き換え、TCO を削減し、ITインフラストラクチャーを簡素化するお手伝いをします。
- 最先端の WebSphere ソフトウェアに構築された SSA Open Architecture は、サービス指向アーキテクチャ (SOA) を活用することで、開発を容易にし、市場までの時間を短縮し、企業ソリューションの構成および管理の簡素化を可能にします。
- Red Hat Enterprise Linux AS (RHEL AS 4) for POWERおよび SUSE LINUX Enterprise Server 9 (SLES 9) for POWER の2つのエンタープライズLinux ディストリビューションは、オープンな業界標準の採用を進めようとする政府やその関連機関、企業にとって、開発の柔軟性および投資の保護を提供します。
- 非常に多くの業界先端技術および実際の経験をもつIBMとSSA Globalの連携—Linux OS 開発の主導的な参加者として、IBM は最先端技術および革新をもたらすことで、サイジング、導入、移行および開発を可能としています。また世界中に 13,000 以上のお客様をもつ SSA Global は、実際の経験および世界規模の ERP 専門技術をもたらすことで、お客様への価値の提供を推進します。

\*同時ERPユーザー数は、推奨構成において、SSA ERP<sub>LN</sub> 環境における一般的な使用が想定されていますが、使用にあたっては特定のお客様環境により異なります。

機能	利点
<b>極めて広範かつ徹底した SSA ERP<sub>LN</sub>によるERP に対するサポートを実現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSA ERP<sub>LN</sub> は、製造—保管・設計—注文まで、またはライン生産からリーン生産システム(かんばん方式)まで、個々の製造オペレーションに対して包括的なサポートをお届けします。</li> </ul>
<b>SSA ERP<sub>LN</sub> には主要ターゲット産業を対象とした特定のソリューションテンプレートが埋め込まれている</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSA ERP<sub>LN</sub> は実装しやすく、お求め安い価格です。</li> </ul>
<b>System p5 Express サーバーは優れた価格/パフォーマンスを提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れたアプリケーションパフォーマンスを提供するよう設計されています。</li> <li>同時マルチスレディングにより商業システムパフォーマンスおよびプロセッサの活用を増加します。</li> <li>少ない数のサーバーでより多くの能力を利用できるようにすることで、IT アーキテクチャを簡素化し、業界で効果的に競合していくお手伝いをします。</li> </ul>
<b>System p5 Express サーバーの広範な設定機能でビジネスの成長とともにインフラも成長</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ERPのコアプロセスから始めても、必要に応じて追加機能を容易に追加することができます。</li> <li>最大 64GB メモリ、最終的に 31.2TB のディスク容量となる 8 つのオプション I/O ドロワー、および 59 ホットプラグ PCI-<math>\times</math>スロットのリソースを p5-550 Express モデルに追加し、企業内外のビジネスプロセスを統合することができます。</li> </ul>
<b>System p5 Express servers のオプション Advanced POWER Virtualization (APV) 機能により、IT 環境を集約、最適化することが可能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リソースを新たなチャンスにより容易に適用することができます。</li> <li>需要の移行に伴い、お客様に対しダイナミックなリソース調整を行い、レスポンスを向上させます。</li> <li>管理、アップグレード、サポートするサーバー数を削減します。</li> <li>サーバーの活用を高めることで、余剰リソースを削減します。</li> <li>継続的に TCO を削減します。</li> </ul>
<b>System p5 Express サーバーなら、メインフレームに基づく信頼性、可用性、サービス性 (RAS) 機能により、重要な ERP プロセスに対する高い信頼性が得られます</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスプロセッサ、Chipkill™メモリ、First Failure Data Capture、選択システムリソースの動的割り当て解除、ホットプラグ PCI-<math>\times</math>スロット、ホットスワップ可能ディスクベイ、リダンダントホットプラグ冷却装置、ホットアド I/O ドロワー、動的ファームウェア更新その他を含め、一般的にはかなり大きく高価なシステムに備わる機能を使用できるので、優れたシステムの可用性を提供します。</li> </ul>
<b>Linux on IBM POWER システムソリューションにおける SSA ERP<sub>LN</sub>により、システム不安から開放されます</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IBM と SSA Global は、総合的なビジネスソリューションをお客様に提供します—SSA Global からは強固なアプリケーションリーダーシップ、IBM からは信頼性、柔軟性があるシステムが提供されます。</li> <li>SSA ERP LN は機能性に富んだERPソリューションです。</li> <li>IBMは確固としたPOWERプロセッサ・ロードマップを提供しています。</li> <li>POWERアーキテクチャーはすでに第 5 世代の実績があります。</li> <li>IBM はLinux ベースソリューションの業界リーダーとして知られています。</li> <li>IBM と SSA Global は、実際の経験に基づき、広範囲にわたるサービスとサポートを提供いたします。</li> </ul>

---

## Linux on IBM POWER システム向けSSA ERP<sub>LN</sub> ソリューションの概要

---

### 標準構成

#### Linux on IBM POWER システム向けSSA ERP<sub>LN</sub> ソリューションの要素

- Linux OS ファミリー SSA ERP<sub>LN</sub>
- System p5 Express サーバーの選択
- TotalStorage 拡張可能ストレージシステム
- DB2 UDB
- WebSphere Application Server
- Linux ディストリビューションの選択(RHEL AS 4 or SLES 9)

#### IBM System p5 510 および 510Q Express、OpenPower Edition サーバー

- p5-510 Express : 1Wayまたは 2Way 64ビット1.65 GHz POWER5+、または 2Way 1.9 GHz POWER5+サーバー
- p5-510Q Express : 4Way 64ビット1.5 GHz POWER5+サーバー
- ラックマウントまたはデスクサイド形式ファクター
- 最大 32GB メモリ (533 MHz DDR2 SDRAM)
- 4つの標準内蔵ディスクベイ (10K または 15K rpm)
- 広範な I/O オプション : メモリ、複数のディスクドライブ、速度、通信アダプタおよびメディアデバイス

#### IBM System p5 520 および 520Q Express、OpenPower Edition サーバー

- p5-520 Express : 1Wayまたは 2Way 64ビット1.65 GHz POWER5+、または2Way 1.9 GHz POWER5+サーバー
- p5-520Q Express : 4Way 64ビット1.5 GHz POWER5+サーバー
- ラックマウントまたはデスクサイド形式ファクター
- 最大 32GB メモリ (533 MHz DDR2 SDRAM)
- 4つの追加オプション付き 4つの標準内蔵ディスクベイ (10K または15K rpm)
- 広範な I/O オプション : メモリ、複数のディスクドライブ、速度、通信アダプタおよびメディアデバイス

#### IBM System p5 550 および 520Q Express、OpenPower Edition

- p5-550 Express : 1Wayまたは 2Way 64ビット1.65 GHz POWER5+、または 1.9 GHz POWER5+サーバー
  - p5-550Q Express : 4Wayまたは 8Way 64ビット1.5 GHz POWER5+サーバー
  - ラックマウントまたはデスクサイド形式ファクター
  - 最大 64GB メモリ (533 MHz DDR2 SDRAM)
  - 4つの追加オプション付き 4つの標準内蔵ディスクベイ (10K または 15K rpm)
  - 広範な I/O オプション : メモリ、複数のディスクドライブ、速度、通信アダプタおよびメディアデバイス
-

## 詳細について

IBM 代理店または IBM ビジネスパートナーにご連絡いただくか、またはこちらを参照してください。

- [ibm.com/systems/p/openpower/solutions/bi.html](http://ibm.com/systems/p/openpower/solutions/bi.html)
- [ibm.com/jp/servers/eserver/openpower/](http://ibm.com/jp/servers/eserver/openpower/)
- [ibm.com/systems/jp/linux/power/index.html](http://ibm.com/systems/jp/linux/power/index.html)
- [ibm.com/systems/jp/p/](http://ibm.com/systems/jp/p/)



© Copyright IBM Corporation 2006

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

All Rights Reserved  
2006年2月

この文書はアメリカ合衆国内で提供される製品および/またはサービスに対して作成されたものです。その他の国においては、IBMはこの文書に記述されているある製品、機能、およびサービスを提供していない場合があります。情報は予告なく変更されることがあります。地域で利用可能な製品、機能、およびサービスの情報については、担当の IBM ビジネスコンタクトにご相談ください。

IBMの今後の方向性および意向に関する全ての記述は、連絡なしに変更または取り消され、目標と目的のみが示されることがあります。

IBM、IBMロゴ、eServer、DB2、DB2 UDB、Micro-Partitioning、OpenPower、POWER、POWER5、POWER5+、pSeries、System p5、Tivoli、TotalStorage および WebSphere はアメリカ合衆国、その他の国またはその双方における International Business Machines Corporation の商標または登録商標。IBM 所有のアメリカ合衆国における商標の全リストは以下でご確認いただけます：

[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml)

Linux はアメリカ合衆国、その他の国々またはその双方における Linus Torvalds の登録商標。

UNIX はアメリカ合衆国、その他の国々またはその双方における Open グループの登録商標。

その他の会社、製品、およびサービス名またはサービス・マークは他者の商標である可能性があります。

IBM 製品以外の製品に関する情報は、製品のサプライヤーまたはその他公的情報源から入手したものです。IBM 製品以外の製品の能力についてのご質問は、製品のサプライヤーに宛ててください。

全パフォーマンス情報は、制御された環境で決定されたものです。実際の結果は異なる可能性があります。パフォーマンス情報は「現時点」のものであり、IBM は明示的にも暗示的にもそれを保証いたしません。

この文書で記述されている多くの pSeries 機能は、依存オペレーティングシステムであり、Linux 上で利用できない可能性があります。詳細については、以下をご確認ください：

[ibm.com/servers/eserver/pseries/linux/whitepapers/linux\\_pseries.html](http://ibm.com/servers/eserver/pseries/linux/whitepapers/linux_pseries.html)

<sup>1</sup> International Data Corporation Quarterly Server Tracker (2005年8月)； 2Q05によるデータに基づく

<sup>2</sup> International Data Corporation Server Workloads 2005 Model (2005年7月)